

2014年度「研究部会活動記録」

現代政治経済研究所

部会主任名	田中 愛治	研究部会名	世論調査・実験方法論部会
研究課題：			
コンピュータ支援型自記式（CASI）世論調査と熟慮反映型（MP）世論調査の方法論的検討と政治経済学実験の導入			
月/日	活 動 記 録		
4 月 18 日 (金) 15 : 00-17 : 00	The impact on Happiness of Ideological self-position and Ideological Proximity to a Cabinet 発表者：Luigi CURINI（ミラノ大学 准教授） 場 所：早稲田大学 早稲田キャンパス 1号館 3階 303教室		
6 月 10 日 (火)	早稲田大学現代政治経済研究所Working Paper Series, No. J1402発行 遠藤晶久・ウィリー・ジョウ「イデオロギーラベル理解の世代差に関する実験的検証」		
6 月 25 日 (水) 15 : 00-16 : 30	Asia in Washington: Exploring the Penumbra of Transnational Power (日米研究機構との共催) 講演者：Kent E. Calder, Director of the Edwin O. Reischauer Center for East Asian Studies, Director of Japan Studies, Johns Hopkins School of Advanced International Studies (SAIS) モデレータ：田中 愛治（早稲田大学政治経済学術院 教授） 場 所：早稲田大学 早稲田キャンパス 1号館 4階 401教室		
9 月 12 日 (金) 14 : 30-17 : 30	討論型世論調査の日本での展開（科学研究費基盤（S）（研究代表：田中愛治）との共催） 講演者：曾根 泰教（慶応義塾大学総合政策学部教授） 場 所：早稲田大学 早稲田キャンパス8号館501会議室		
11 月 1 日 (土) 15 : 00-18 : 00	熟慮WEB調査分析報告ワークショップ 発表者：清水和己（早稲田大学）「情報条件と政策選択」 千葉涼、今井亮佑、日野愛郎（早稲田大学）「選択式質問による「熟慮の質」の測定」 遠藤晶久、山崎新（早稲田大学）「政策態度と国民的議論」 横山智哉（一橋大学）「政策争点に関する情報提示が感情的（脱）極性化の生起に及ぼす影響」 場 所：早稲田大学 早稲田キャンパス 1号館 2階 現代政治経済研究所会議室		
3月7日 (土) 16:30-18:00	政治経済学会第6回研究大会における共催パネル		

	<p>自由企画「政治経済学における実験研究の射程」 司会：清水 和巳（早稲田大学） 劉 凌・加藤 言人（早稲田大学）「政治情報への評価・記憶に対する接触時間の効果 —アイトラッカーを用いた実験による検証」 宇都 伸之・船木 由喜彦（早稲田大学）「Tracking Eye Movement in Lottery Choice Experiment」 遠藤 晶久・山崎 新（早稲田大学）「世論調査回答時間と政治的態度 — CAI調査の可能性」 討論：岡田 陽介（慶應義塾大学） ：黒川 博文（大阪大学） 場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館 305教室</p>
来年度の活動計画	<p>2015年5月16・17日に開催される日本選挙学会のパネルにおいて研究成果を報告する。 コンピュータ支援型自記式（CASI）世論調査と熟慮反映型（MP）世論調査に関する研究部会を開催する。 世論調査データベースの整備を進める。</p>
終了の場合	<p>研究成果刊行の時期： 年 月（予定） 研究成果の公開方法：</p>